

福島 彩介

持続可能な農村を創造するため、働きます！

土木部 浜田県土整備事務所
農林工務部農道・防災課 技師

令和3年度採用

県職員を選んだきっかけ

生まれ育ったしまねの力になりたい！

高校入学時点では明確な夢があったわけではなく、漠然と生まれ育った島根県で就職したいと考えていました。就職活動で島根県の総合土木職について調べるうちに、「高校で学んだ農業土木の知識を生かし、生まれ育ったしまねの力になれる仕事」であるところに魅力を感じ、島根県の農業農村整備職員になりたいと思いました。

現在の仕事内容

農村地域の声に耳を傾け、整備していく

農業をしやすいように農地や施設を整備する農業農村整備事業の工事監督・予算管理等を担当しています。中でも、水田や畑を整備するほ場整備や農道整備、ため池整備といった業務に携わってきました。農村地域の声に耳を傾けながら、地域全体を活性化させるため日々頑張っています。



印象に残っているエピソード

地域住民の笑顔を創れる

現在、私が携わっている農業農村整備の魅力は、地域住民の「笑顔」を創れることです。農業農村整備事業は、農家の方々とやり取りを行い、理解を得た上で仕事を進める必要があります。当然、農家の方々が先祖代々受け継がれてきた田畑を工事するわけですから、時には要望や指摘を受けることがあります。そういった要望に応え、笑顔で「田んぼが大きくなり、整形されたことで営農がしやすくなった」と喜んでもらえたときは、県職員としてのやりがいや達成感を感じました。

ワークライフバランスについて

仕事も遊びも常に本気

小学3年生のころから始めたサッカーを、今でも趣味として続けています。続けられている理由として、サッカーが好きなのもありますが、ワークライフバランスを実現しやすい職場環境で、帰ってからトレーニングに掛ける時間を捻出できることが一番です。社会人になり、学生の時のような時間の余裕は明らかに減りますが、段取りやスケジュール管理などの、仕事の工夫を行うことで家に帰ってからの時間を有効に使うことができます。

